

第3学年	国語科	使用教材	新しい国語3（東京書籍）、新国語便覧（秀学社）、単元別漢字3（秀学社）、すらすら基本文法（浜島書店）、漢字の反復練習（浜島書店）
------	-----	------	--

<学習の目標>

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しみ理解できる力をつける。
- ・論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いを広げたり深めたりできる力をつける。
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

授業のポイント	・想像したこと、感じたことなど、自分の考えを積極的に言葉にしようとする。 ・話の内容を吟味して、問題を検討し、意見をまとめながら自分の考えを広げる。
家庭学習について	・教科書を読み、新出漢字や意味の分からない語句は辞書を使って調べておく。 ・単元別漢字ワークや、漢字の反復練習を使って漢字を繰り返し書いて覚える。 ・自分の考えを持ち、便覧で詩の形式や表現技法などを確認しながら、作文や作詩をする。
テストについて	・定期テスト ・小テスト ・実力テスト

評価の観点	判断基準について
国語に対して関心を持ち、進んで話し合ったり、書いたり、読書しようとする。	授業中の様子・提出物・小テスト
自分の考えを持ち、筋道を立てて話し、話の内容を的確に聞き取ることができる。	授業中の様子・小テスト
自分の考えを持ち、分かりやすい文章を書くことができる。	授業中の様子
様々な種類の文章を読み、内容を正確に理解することができる。	定期テスト
語句・文法・漢字などの基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。字形を整えて、読みやすく書くことができる。	定期テスト

<2学期>

月	学習内容	付けさせたい力	課題
9	論語	・漢文の知識をしっかりと覚える。（訓読、返り点、書き下し文などが書ける。訓読が出来る。） ・言葉の意味や、漢文のルールに注意して、古人の言葉を読み味わい、自分の考えを書く。	ノートなど
10	万葉・古今・新古今 (和歌)	・和歌が詠まれた背景や作者の心情を想像しながら、和歌の世界に親しむ。 ・和歌の意味や使われている技法に注意して、鑑賞文が書ける。	ノートなど
11	おくのほそ道	・当時の状況や作者の思いを捉え、古典の世界に親しむ。 ・構成や表現の特徴と、その効果について考える事が出来る。	ノートなど
12	サハラ砂漠の茶会 (聞き取りテスト2回目) (適宜、文法・古典の復習などをする)	・論の進め方や表現について評価することが出来る。 ・文章の内容について自分の考えを持つ。	ノートなど

<荒牧中学校 研究テーマ>

「自主・自立を促し、主体的に学び活動する生徒の育成

～言語活動の先にある協同的探究を目指して～」

- ・自分の考えを発言する・書く機会を増やす。
- ・意見を交流することにより、新たな学びや課題へと発展させる。

